

文部科学記者会

横浜市政記者会 同時発表

2026 年 2 月 13 日

横浜市立大学

産学官共創で「よこはま子育て支援フェスティバル」を開催 ー第 8 回 Y-CAP ミーティングー

横浜市立大学は、2024 年 6 月に、大学・民間事業者・NPO・研究機関・行政等の参画による「子育て世代の時間貧困*1 解消と男女共同参画を目指した産学官共創ラボ」を発足しました。本学の文理融合研究に携わる研究者が中心となり、横浜市の関連部署や企業、NPO 等と共同でプロジェクトを進め、産学官共創会議（Y-CAP ミーティング）を開催しています。

このたび、医学部看護学科老年看護学領域 叶谷由佳教授がリーダーとなり、第 8 回目の産学官共創会議（Y-CAP ミーティング）として、市民の皆様にご参加いただけるイベント「よこはま子育て支援フェスティバル」を開催します。

本共創プロジェクトや社会課題解決に向けた子育て支援サービスの紹介、ママ・パパの健康チェックなど、楽しみながら参加者が“自分ごと”として社会課題を認識できる内容となっており、未就学児向けの段ボール迷路や段ボール工作、記念撮影コーナーなど、親子で一緒に楽しめるイベントです。ぜひご参加ください。

日 時 2026 年 2 月 28 日（土）11:00～15:00

会 場 横浜市役所 1 階アトリウム（横浜市中区本町 6-50-10）

アクセス：みなとみらい線「馬車道駅」1c 出口 直結

JR「桜木町駅」新南口（市役所口）徒歩 3 分（約 200m）

地下鉄「桜木町駅」「1 口」から徒歩 3 分（約 200m）

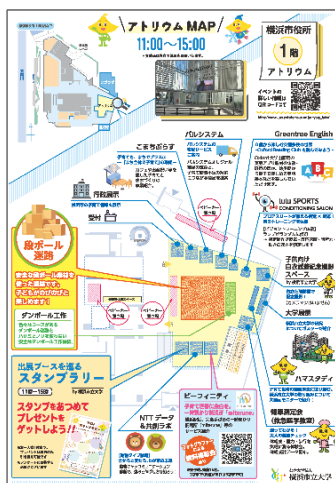
参加費 無料（申し込み不要）

主 催 横浜市立大学 子育て世代の時間貧困解消と男女共同参画を目指した産学官共創ラボ

協 賛 生活協同組合パルシステム神奈川

後 援 横浜市こども青少年局

チラシ



●子育て世代の時間貧困解消と男女共同参画をめざした産学官共創ラボについて

データサイエンスとエビデンスに基づく新たな共同研究および社会実装を創出、研究成果とそのプロセスの情報発信によるイノベーション創出の土壌構築を目的としています。本学国際商学部・大学院データサイエンス研究科の黒木淳教授、医学研究科看護学専攻の叶谷由佳教授、国際マネジメント研究科の原広司准教授、根本裕太郎准教授らを中心に、産学官が協働して、子育て世代の時間貧困や男女共同参画という社会課題の解決へ向けて取り組んでいます。

●産学官共創会議（Y-CAP ミーティング）

研究成果や実績に係る報告およびディスカッションを行う場として、産学官共創会議（Y-CAP ミーティング：Yokohama Consortium for Alleviating Parenting time-Poverty）を開催しています。参画者が互いの活動への理解を深め、新たなつながりや共同研究が生まれるネットワーキングおよびコミュニケーションの場としても活用しています。

●参画機関

- ・横浜市（政策経営局・こども青少年局・経済局・戸塚区）
- ・株式会社 NTT データ ・コニカミノルタジャパン株式会社
- ・hab 株式会社 ・トモイク株式会社 ・株式会社ハハカラ
- ・社会福祉法人若竹大寿会 ・認定 NPO 法人こまちぷらす
- ・一般社団法人日本テレワーク協会 ・認定 NPO 法人スマイルオブキッズ
- ・認定 NPO 法人コロンブスアカデミー ・戸塚区地域子育て支援拠点 とっとの芽
- ・公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 他

用語説明

- *1 時間貧困：最低限必要な生活時間が労働・通勤時間によって確保できない状態。その結果、睡眠・余暇・育児時間を不本意に削減している状況を指す。未就学児を持つ共働き世帯の女性は8割が時間貧困であると言われている。



横浜市立大学は、様々な取り組みを通じてSDGsの達成を目指します。

